

MATSUE CITY COUNCIL  
NEWS LETTER

# 市議会

だより



競りでにぎわう恵曇漁港



清原太兵衛翁銅像



佐太神社



佐陀神能(八重垣)



## 海が育てた自然と神能が舞う 鹿島町

島根半島の中央に位置し雄大な日本海に面する鹿島町は、変化に富んだ美しい海岸線を持ち、大きく弧を描く入り江には恵曇漁港がある海のまちです。

荘厳な出雲造りの御本殿を持つ佐太神社は、出雲国二ノ宮と称され、出雲国三大社の一つ「佐太大社」とも称されています。ユネスコの無形文化遺産リストに登録されている佐陀神能は、佐太神社の「御座替祭(ござがえさい)」にあわせて執り行われます。

郷土が誇る松江藩士・清原太兵衛は、佐陀川開削の偉業を成し遂げました。

# 2月定例会

平成27年2月25日～3月25日

## 地方創生を進めるための予算案、 条例案などを可決

2月定例会は、平成27年度予算案件（一般会計1件、特別会計9件、公営企業会計6件）、条例案件27件、一般案件156件、平成26年度補正予算案件13件、人事案件4件を審議、全案件とも原案可決・同意しました。

また、議会からは委員会提出案件1件、議員提出案件3件を審議し、全案件とも原案可決しました。

一般質問には、17名の議員が立ち、主に地方創生に関する姿勢・考えや予算についての他、10年間を経過した市町村合併の総括、将来を見据えた公共施設適正化問題、教育改革に関する件など市長、執行部の考えを質し、答弁を求めました。

### 平成27年度予算

一般会計予算総額は、996億8,400万円（前年比7億9,400万円、0.8%の減）、特別会計は495億4,179万円（36億2,880万円、7.9%の増）、企業会計は394億2,499万円（15億4,221万円、3.8%の減）です。（3～4ページをご参照ください）

### 平成26年度補正予算

一般会計補正予算額は、12億853万円（補正後総額1,024億1,910万円）であり、国の緊急経済対策に呼応し地域消費喚起・生活支援、地方創生先事業予算、フォーゲルパーク管理運営費、駐車場特別会計繰出金などです。

特別会計は3億238万円、企業会計は6億2,388万円の減で、決算見込みや会計整理によるものです。



松江フォーゲルパーク

### 条例の制定・改正（主なもの）

#### 松江市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

法律の一部改正に伴い、教育長の職務専念義務の特例に関して必要事項を定める。

#### 松江市ふるさと奨学金貸付条例の一部改正

人口減少対策として、卒業後の市内定住を促進するため、ふるさと奨学金の貸付け対象者の資格要件を緩和し、市外からの転入者にも貸付を行うこととするため改正を行う。

#### 松江市立幼保園保育料及び入園料条例の一部改正

「子ども・子育て支援法」の制定により、利用者負担について国の基準を上限とし、市町村が定めることに伴い改正を行う。

#### 松江市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則等の一部を改正する省令施行に伴い改正を行う。



子ども・子育て支援の充実



## 予算特別委員会の主な審査内容

平成27年度予算審査は、2月25日に予算特別委員会（議長を除く議員全員）を設置し、3月5日に予算の総括質疑を行いました。その後、総務・教育民生・経済・建設環境の各常任委員会を予算特別委員会の分科会とし、審査した後、3月20日の予算特別委員会にて各分科会の経過と結果が報告され、3月25日の本会議最終日に採決が行われました。

### 予算特別委員会での総括質疑（主なもの）

質 問	執 行 部 の 答 弁												
地方創生はどのような施策が計上されたか	1つは「ものづくり産業の振興」、2つ目は「IT産業の振興」、3つ目は「観光産業の振興」、4つ目は「農林水産業の振興」、5つ目は「企業誘致の促進」、6つ目は「就業支援・UIターンの促進」であり、各細目をつくり実施する。												
今後の財政力指数や経常収支比率の見込みはどうか	<p>財政力指数の試算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財政力指数</td> <td>0.542</td> <td>0.532</td> <td>0.524</td> <td>0.538</td> <td>0.548</td> </tr> </tbody> </table> <p>経常収支比率は今後も90%前後で推移すると見込む。</p>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	財政力指数	0.542	0.532	0.524	0.538	0.548
年度	H26	H27	H28	H29	H30								
財政力指数	0.542	0.532	0.524	0.538	0.548								
都市計画税はどんな事業に充てられているのか	都市計画税の用途は、下水道事業の市債償還などが中心であるが、市街化区域内の城山北公園線、揖屋馬淵線などの街路事業にも充当している。												
予算全体において共創はどのように具体化しているのか	平成27年度は、「地方創生の第一幕」と位置づけ、今後地方版の総合戦略の策定や大橋川の周辺のまちづくり事業などを行う。このような本市のまちづくりの根幹をなす事業についても共創の考え方で、できるだけ計画段階からいろいろな人たちの意見をいただきながら進める。												
電源立地地域対策交付金の経常経費充当は抑制されたか	経常経費への充当は抑える必要があると考えており、新年度予算には、防災関連で消防車両の購入や消防南部分署の整備、自治会・町内会の防犯灯や集会所の整備、新規学卒者を雇用した企業に対する雇用奨励金などに充当している。												
市職員の非正規職員の割合・一般臨時職員の年収はどうか	総務・人事関係の市職員1,569人（平成26年4月1日現在）中、非正規職員が42.3%を占める。臨時職員の年収は160万円である。												
拠点連携や線引きの問題について、県に対してどのように回答するのか	都市計画マスタープランは、平成27年度中に県へ意見を出すことになる。線引き問題は、制度を維持しながら拠点連携型の都市機能のまちづくりを進めていく旨を回答したいと考えている。												

# 予算特別委員会各分科会での質疑と意見（主なもの）

## 総務分科会

### 《一般会計》

- 質疑のあった項目
  - 新しい財政会計システム
  - 医療機関の重複頻回受診者の把握
  - 集落支援員制度の内容
  - 公共施設適正化推進の取り組み
  - 未利用財産処分の方法
  - 複合施設の自家発電設置
  - ふるさと寄付金
  - 消防水利整備計画
  - マイナンバー制度
  - 総合戦略策定
- 意見
  - 交付税額が減額する中で、地方創生、住みやすさ日本一につながる施策の実施に向けたものと判断。
  - 今後の松江市のしっかりとした基盤づくりをお願いしたい。
  - マイナンバー制度はプライバシー侵害やなりすまし犯罪を常態化させる。



### 《国民健康保険事業特別会計》

- 質疑のあった項目
  - 短期証、資格証の交付
- 意見
  - 保険料の伸びを抑えるには医療費の抑制しかないが、特定健診の受診率向上に努力されている。
  - 資格証明書発行により医療を受ける権利が侵害されている。

## 教育民生分科会

### 《一般会計》

- 質疑のあった項目
  - 複合施設における非常用電源設備
  - テニスを核としたスポーツ普及事業費
  - 障がい者支援事業
  - がん検診事業
  - 高齢者生きがいづくり事業
- 意見
  - 保育士等の処遇改善、環境整備に努力してほしい。
  - 学校教室へのクーラー設置や児童クラブ施設の問題についてはすぐに対応すべき。



### 《介護保険事業特別会計》

- 質疑のあった項目
  - システム改修事業費補助金
  - 認定審査委員報償費
  - 介護保険制度の運営
- 意見
  - 厳しい財政状況であるが、計画を遂行していただきたい。
  - 保険料の大幅値上げにより、未納者が増えることが心配。

### 《病院事業会計》

- 質疑のあった項目
  - 地域医療支援病院としての役割
  - 緩和ケアの医師増員
- 意見
  - 緩和ケアは患者の高い評価を得ている。地域医療のリーダーシップを発揮してほしい。
  - 時間外選定療養費等を収益に含めることは本来のあり方から逸脱している。

## 経済分科会

### 《一般会計》

- 質疑のあった項目
  - 多面的機能支払事業
  - 牡丹の生産・販売対策
  - スマートアグリ
  - ものづくりアクションプラン
  - 信用保証料補給金の減額
  - 松江歴史館事業費
- 意見
  - 農林水産業は生産性が高まるよう取り組み、企業誘致は優遇制度をもとに促進いただきたい。
  - 企業立地支援補助金は、原発容認へ誘導する施策とみられる。



## 建設環境分科会

### 《一般会計》

- 質疑のあった項目
  - 不法投棄対策
  - 海岸漂着ごみ回収策
  - 宍道湖中海の水質改善
  - 歴史的建造物調査
  - 都市計画道路
  - 松江城国宝化
- 意見
  - 宍道湖・中海の水質環境は、関係団体と協力し改善に取り組んでいただきたい。
  - 大手前道路は城下町らしい雰囲気が残されていない。

### 《水道事業会計》

- 質疑のあった項目
  - 小水力発電
  - 水道事業と簡易水道事業の統合
- 意見
  - 安定、安心の水を届ける、災害時に備えた整備が進められている。
  - 料金改定、値上げがあり市民に負担がかかっている。



# 2月定例会 一般質問

2月定例会では、3月2日から3月4日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



はやし かん じょう  
**林 干城** (松政クラブ)

会派代表質問

- ・マイナンバー制度
- ・地方創生に関連した国の予算、考え方
- ・**地方創生に取り組む姿勢、考え方**
- ・市庁舎の改修についての考え方は
- ・教育問題
- ・県立短大の4年制化
- ・上下水道事業

## 質問 地方創生に取り組む考え方を伺う

地方版総合戦略を作らないといけませんが、時間のない中、国の細かな指示に従うと金太郎あめになる可能性もある。成功体験を持つ昭和へのノスタルジーを払拭し、若者の意見を取り入れ作ってほしい。中海・穴道湖圏域の連携と中核市への移行で人口のダム機能を果たしたいと言われるが、これ以外にどんな考えで作成に取り組まれるか。

## 回答 魅力ある雇用の場、安心な出産子育て

地方創生をやる場合、国・県・市の整合性あるいは役割分担をしなければならない。若者にとって魅力ある雇用の場の創出が大事。そして、若い人たちが安心して子供を産み育てられるような環境づくり。農林漁業については、力強い農業経営体の育成が必要で、認定農業者あるいは集落営農組織等への農地の利用集積を図っていく必要がある。



ひら ゆき お  
**比良 幸男** (松政クラブ)

会派代表質問

- ・合併の総括
- ・**線引き問題について**
- ・地方交付税について
- ・マイナンバー制度について
- ・竹島の日について

## 質問 線引き問題市長の結論は

陳情・請願の採択の後、多くの議論が交わされた。県に対して市として意見を言うタイムリミットが来ていると思うが、総合的に判断すると言われた市長の結論を伺う。

## 回答 維持しながら土地利用を検討

国においては、市街地のみならず中山間地域においてもコンパクトなまちづくりを推進していくことが示された。市には線引きと非線引きの異なる都市計画区域の地域や都市計画区域外の地域があり、中心市街地や周辺地域など各拠点の具体像について松江らしいまちづくりを検討していく必要がある。そのためには、拠点連携型の都市構造を推進していくと共に、線引き制度を維持しながら周辺地域の将来像や土地利用のあり方について検討していきたい。



なん ば いわお  
**南波 巖** (真政クラブ)

会派代表質問

- ・地方創生・人口対策について
- ・**中心市街地の活性化策と再編政策について**
- ・土砂災害について
- ・建設産業対策について
- ・公共施設適正化について
- ・当初予算及び2月補正予算について
- ・まちなか居住の推進について

## 質問 主軸道路沿線の活性化策と再編政策は

城山北公園線は松江市の内環状線として、沿線には県庁、松江城、県民会館、総合体育館、北公園等があり、橋北における東西軸として、またくにびき通りも松江を代表するすばらしい道路である。この東西南北線を軸とする沿線の活性化を図る施策が必要だ。また両軸沿線の近辺も近年空き家が増え、まちなかの住居が再編成されるべき時期が来ている。両軸近辺の活性化と再編成策につき所見を伺う。

## 回答 東西南北軸機能を有効に特徴を生かす

城山北公園線は、観光客や地域の方々の利便性や満足度を高める必要がある。くにびき道路は都市機能の集約と都市的な魅力を高めていく地域であり、双方の機能を有効につなぎ、特徴を生かし、中心市街地活性化に結び付けたい。地域の方々、中心市街地活性化協議会等と協議し効果的施策を進めたい。



かつら よし お  
**桂 善夫** (公明クラブ)

会派代表質問

- ・新教育委員会制度
- ・松江市の庁舎問題
- ・公共施設適正化
- ・**介護保険**
- ・観光産業振興
- ・産直市場
- ・振り込め詐欺対策

## 質問 介護職員の処遇改善の実態を伺う

介護職員の人手不足は、まさに深刻な問題となっている。平成23年度までは介護職員処遇改善交付金、平成24年度からは介護職員処遇改善加算により12,000円から20,000円程度の処遇改善をするものである。平成27年度の国の予算では別枠で784億円、一人当たり月額で12,000円程度改善する。近年処遇改善が推進されているが、実際にはどのようになっているか伺う。

## 回答 加算実態は実績報告書等により確認

介護職員の報酬加算実態確認は、改善の状況が確実に実施されているか、その実態を把握している。項目としては賃金改善をはじめ、それ以外に人材育成環境の整備、資格取得や健康診断がある。この実態確認は、事業所に提出を義務づけている実績報告書等により実施状況を把握している。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



もりもと ひでとし  
**森本 秀歳**

会派代表質問  
(市民クラブ)

- ・ 合併の検証
- ・ 観光施策
- ・ 産業振興
- ・ **キャリア教育**
- ・ 教育現場へのICT活用
- ・ 新体育館建設と日本バスケットボール協会の改革について
- ・ 東出雲の三傑を名誉市民に

**質問** キャリア教育コーディネーターの配置をしてはどうか

地方で人材を育てるためキャリア教育に力を入れるべき。充実させるために企業等に理解を求める必要がある。教育委員会と産業観光部の連携強化が重要と考えるがいかか。職場体験学習への取り組みに、学校と企業等の間を取り持つキャリア教育コーディネーターの配置はいかか。

**教育委員会と産業観光部とが連携し**

**回答** 研究していきたい

キャリア教育は将来の地域や産業を支える人材育成につながる重要な教育と認識している。東出雲で開催されたフォーラムは画期的な取り組みであり、この取り組みを市内に広げ、企業や事業者の理解を図りたい。コーディネーターの必要性は今後増すと考え、産業観光部と連携し研究していきたい。



たくの けんじ  
**宅野 賢治**

(友愛クラブ)

- ・ 市長の前回選挙の7つの挑戦の進捗状況と検証
- ・ 地域経済活性化の取り組み決意と市長の強いリーダーシップ発揮
- ・ 今後の松江市の教育行政
- ・ 社会保障・税番号（マイナンバー）制度
- ・ **若者の政治参加と選挙制度改革**

**選挙権年齢18歳以上に引き下げへの**

**質問** 所見と対応は

公職選挙法改正案が成立する見通しとなった。選挙権年齢が18歳以上へ引き下げられると、有権者には高校3年生も含まれるわけであり、学校教育現場の中で生きた政治を学ぶ整備や若者の政治参加への対応強化など、松江市全体として対応の強化を進めることが必要と考えるが、どうお考えなのか。

**子どもたちに**

**回答** 政治に関心をもってもらうことが大事

我が国の民主制度の上で大きな改革である。学校教育においても、その趣旨を含めて子ども達が政治に関心を持ち参画をする意識を育てる必要があり、キャリア教育と同様に大変重要なことと考えている。松江市全体で、子ども達が将来政治に参加する意識を向上できる取り組みを充実させていきたい。



たちばな よしあき  
**橋 祥朗**

会派代表質問  
(共産党議員団)

- ・ ISの日本人殺害について
- ・ 衆院選挙結果と安倍政権について
- ・ 真の地方再生とは
- ・ **福島原発事故と再稼働について**
- ・ 北道路問題
- ・ 農協、TPP参加問題
- ・ 環境行政について
- ・ 美保基地問題

**質問** 福島の現状から、原発再稼働を問う

福島では、いまだ12万人が避難生活を送っている。この現状と、原発と地震や津波との複合災害では、想定どおりの避難訓練など役に立たなかったとの現地の生の声を聞いたがどう思うか。電力会社による、核のゴミの暫定保管場所の選定を再稼働の条件とせよと学術会議の提言も聞く。最終処分場の確保は可能か。また事故は起きないと思うか。

**回答** 復興は道半ば、再稼働は政府の判断で

福島はまだ大変な状況、復興は順調でない。避難が想定どおり行くとはいえないが、訓練を重ねる中で課題を検証していく。再稼働は安全性の確保を前提に国が責任を持って判断すべきで、使用済み核燃料問題も、国が前面に立って取り組むとのことで動向を注視していく。事故は起こりうるとして安全対策や防災対策に取り組み、さらに向上させる。



のつ てるお  
**野津 照雄**

(松政クラブ)

- ・ 大橋川改修事業、天神川水門完成、社会実験、矢田渡船
- ・ 公共施設適正化方針、モデル事業
- ・ **宍道湖・中海での漁業振興、水質改善**
- ・ 農業委員会からの建議
- ・ 太陽光・バイオマス発電と林業復興
- ・ 還付金等詐欺の対応

**宍道湖、大橋川の水草、藻の対策で**

**質問** 藻刈り船を漁協に貸し出しできないか

5月頃から水草、塩草、藻が発生し、成長期に刈り取りしないと、枯れた後は湖底に沈殿し酸素の元凶になる状況だ。漁師の方々なら技能もあり、発生場所や湖底の障害物、流域の状況もご存じなので、藻刈り船を漁協へ貸し出しなり、業務提携を検討されないか。

**回答** 宍道湖漁協等へも貸し出しを行いたい

国交省・出雲河川事務所には、10月に玉湯町沖の宍道湖で藻刈り船による水草の刈り取り実験等で貸し出しを行い、その結果は操作性、能力も良好であった。宍道湖漁協等へも今後貸し出しを行っていききたいと考えている。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



の の うち まこと  
**野々内 誠** (松政クラブ)

- ・ 保育所の待機児童について
- ・ 都市計画税について
- ・ 市街化区域内農地にかかる税制度の緩和について
- ・ 中海大橋の凍結対策について

**質問** 年度中途の待機児童の解消策を問う

保育所の年度中途の入所は、制度に従った手続きをしても入所時期になっても決定せず、保護者の職場復帰ができる保証がないため大変困るという声を聞く。2月補正予算案で私立保育所保育士確保対策事業補助金事業が計上されているが、この補助金によって待機児童は解消できるのか。子育て支援のために待機児童ゼロへの努力を求める。

**回答** 新補助制度で待機児童解消に努力する

本市の待機児童は、毎年10月以降に、ゼロ歳児、1歳児を中心に急激に増加し、年度末には200人以上の状態になる。そこで、年度後半の入所受け入れのための保育士を確保するため質問にある補助事業を新設した。これにより40人の保育士確保が可能となり、120人のゼロ歳児、1歳児の受け入れが図れるものと考えている。



い わ も と ま さ ゆ き  
**岩本 雅之** (真政クラブ)

- ・ 平成27年度介護報酬改定について
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて
- ・ 多様な福祉サービスの連携強化について

**質問** 介護サービスの質の低下につながらないようにするための対策や検討を伺う

安心して働ける労働環境の構築や介護サービスの質の低下につながらないようにするためには、どのような対策や検討を取るべきかを伺う。

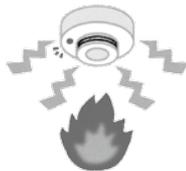
**回答** 第6期の計画において、介護従事者の質の向上と人材確保に取り組んでいく

まずは、全ての事業所において、介護職員の処遇改善を確実に実施することが、安心して働ける労働環境の改善につながると考えている。そのために必要な情報提供を行うとともに、適切な指導・支援を行っていきたい。また、介護サービスの質の向上を図るため、第6期計画において、介護従事者の質の向上と人材確保に取り組む。介護従事者の研修や中高生の介護職場の体験を実施し、将来の介護職場を担う人材の育成にも努めていきたい。



つ も り り ょ う じ  
**津森 良治** (市民クラブ)

- ・ 地方版総合戦略の策定について
- ・ 地方人口ビジョンについて
- ・ 防火・防犯・防災対策について



**質問** 住宅用火災報知機設置の現状と今後の取り組みは

平成16年の消防法改正によって、住宅用火災報知機の設置が義務化された。現時点での設置率や取り組み状況、今後の課題について伺う。

**回答** 自主防災組織と連携して設置を働きかけていく

本市の設置率は79%である。消防訓練や救急講習をはじめ、住宅への防火訪問の機会をとらえて広報活動を行っている。今後とも引き続き、消防団や自主防災組織と連携して設置を働きかけていく。

また、新築住宅への設置義務から10年が近づいているので、警報器の経年劣化による本体交換の推奨を今後広報していく必要がある。



は せ が わ し ゅ う じ  
**長谷川修二** (公明クラブ)

- ・ 認知症予防策
- ・ コミュニティ・スクール事業について
- ・ 地方版総合戦略に対する提案



**質問** 認知症予防対策について伺う

国立長寿医療研究センターでは、コグニサイズや生活習慣改善で、九州の久山町では低糖質な食生活で認知症の予防に取り組んでいる。民間企業では予防薬の開発も進んでいる。松江市における認知症予防対策について伺う。

**回答** 各種予防対策を推進している

認知症の発症予防の対応として、運動教室や口腔機能向上プログラム、閉じこもり防止のためのなごやか寄り合い事業、保健師による健康教室を実施している。また、認知症の理解を深めるための認知症サポーター養成講座や認知症の早期発見、治療の為のもの忘れ診察等を実施している。その他、地域包括支援センターや認知症サポート医、関係機関が連携して、認知症の人とその家族への支援を行っている。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

かたよせ なおゆき  
**片寄 直行** (共産党議員団)

- ・原発問題と防災
- ・国民健康保険



**質問 高すぎる国保料の引き下げを**

国保財政の基盤強化による保険者の拡充対策が、1,700億円予定されている。これを見込めば平成27年度の国保料は値上げしなくともやれるのではないか。負担の限界を超えている保険料の引き下げを求める。

**回答 医療費、国の支援を見極め判断したい**

国民健康保険運営協議会では前年比1.0%の増額改定が必要との中間報告をしたが、過去10年間、右肩上がりに伸びてきた医療費が上半期では下がっており、下半期の医療費の伸びを注視する。また、国の財政支援が国会で審議中なので、国費の歳入増が不確定。平成27年度の保険料を今の段階で言うことはできない。

にい い まさただ  
**新井 昌禎** (友愛クラブ)

- ・企業の地方移転促進による地方活性化について
- ・空き家・空き地の有効活用による中心市街地の再生について
- ・統一的な基準による地方公会計制度の導入に向けた対応について

**本社機能や管理部門などの非製造部門誘致の取り組みの考え方は**

企業の地方移転促進税制の活用により、首都圏等にある本社機能や管理部門などの非製造部門を誘致することで、地域で育てた優秀な人材をその地域で雇用することが可能になる。特に、女性については、継続した雇用や活躍の場の拡大に繋がると考えるが、松江市の考え方を伺う。

**地方創生の中でも本社機能の移転が**

**回答 言われておりそれに沿って努力する**

従来企業誘致と違って、本社機能が移転することは、経営的にも安定しており、税収面でも大きい。新たなビジネスチャンスも生まれるなど、域内の産業への影響も非常に大きい。国も地方創生の中で本社機能の移転ということを言っており、それに沿った努力を積極的に行う。

よしぎ けいこ  
**吉儀 敬子** (共産党議員団)

- ・条例違反の児童クラブ
- ・再生可能エネ100%導入の目標を掲げるべき
- ・学力テスト公表を中止しクーラー設置を
- ・松江市として手仕事の振興を

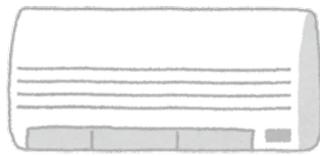
**質問 正答率公表より教育条件整備を**

痛ましい事件が起きている。教師が、子どもに向き合うためには、学力テスト公表は中止すべきではないか。市が力を入れることは、教育条件の整備であり、普通教室のクーラー設置を実施することではないか。

**回答 公表は来年度以降も継続する、クーラー設置費用は10億1,000万円**

学校間で20ポイント近く差がある学年や教科がある。今後も学校、地域、行政が連携して学力向上に取り組む。学力調査結果の公表は、来年度以降も継続する。

すべての普通教室にクーラーを設置するには、10億1,000万円程度の設置費用が必要。特別教室設置後に検討する。



あしはら やすえ  
**芦原 康江** (無会派)

- ・松江市原子力災害広域避難計画について
- ・高齢者虐待防止の対応について
- ・障がい者差別禁止条例について

**質問 高齢者虐待の認定の意味は**

虐待の有無を判断するに当たって、不適切なケアか虐待か区別がつかない場合がある。行政は虐待の訴えに対して調査されるが、使用者からの不利益な扱いを恐れて明確な証言をしてくれる場合が少ないと考えられる。高齢者がけがをしていても、不適切なケアの結果生じたと判断し、虐待認定をためらうこともあるのではないかと。行政が高齢者虐待を認定することはどんな意味を持っているとお考えか伺う。

**回答 公平な立場で法に照らした判断と認識**

行政が虐待を認定することの意味については、サービスを受ける側と提供する側、そうした双方に対して中立、公平な立場に立って法に照らして判断することが行政の役割であると認識している。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



きたに まい  
**貴谷 麻以** (真政クラブ)

- ・福島第一原発の現状
- ・共創のまちづくりの進捗状況
- ・保育所や児童クラブの状況や課題
- ・**教育改革**
- ・医療・介護の連携と医療政策
- ・教育・医療・介護特区の必要性
- ・文化・芸術、若い人たちへの産業振興やオリンピックの準備

**質問** 教育現場の対応と特別教育支援は

学級がひどい状況にあると困っている保護者がいる。教育現場の課題と対応は。ディスレクシアの人への支援は。特別支援教育支援員数が松江市は少ないのでは。発達や学習障がい等の状況はどうか。

**回答** 組織との連携や支援員などで対応する

全体は落ちついているが指導に苦慮している学級もある。組織等の連携できめ細かく対応する。教職員には一人一人の子どもの特性を理解し個別的支援を教職員の共通理解の下で行う必要がある。いわゆる読み書き障がいのディスレクシアは、エスコ等で指導・助言を行っている。特別支援教育支援員は19名。にこにこサポートティーチャーは増員を県に強く要望している。松江市の通常学級で学習・発達障がい等の支援が必要な人の割合は、県の調査で小学校7.7%、中学校5.6%である。

**6月定例会日程**

月	日	曜日	会 議 名
6	17	水	本会議 (会期の決定、提案説明)
	22	月	本会議 (一般質問)
	23	火	本会議 (一般質問)
	24	水	本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
	25	木	総務委員会
	26	金	教育民生委員会
	29	月	経済委員会 建設環境委員会現地視察
	30	火	建設環境委員会
7	3	金	本会議 (委員長報告・質疑、討論、採決) 閉会

議会事務局 総務課 TEL 55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後もし引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

**委員会・議員提出議案**

件 名	結 果
委員会提出議案 第1号 松江市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議員提出議案 第1号 土砂災害防止対策の推進を求める意見書について	原案可決
議員提出議案 第2号 認知症に対する取り組みの強化を求める意見書について	原案可決

**陳情の審査結果**

件 名	提 出 者	結 果
陳情第13号 農協改革など「農業改革」に関することについて	島根県農民運動連合会 会長 長谷川 敏 郎	不採択
陳情第14号 米価対策の意見書の提出を求めることについて	島根県農民運動連合会 会長 長谷川 敏 郎	不採択
陳情第15号 TPP交渉に関することについて	島根県農民運動連合会 会長 長谷川 敏 郎	不採択
陳情第16号 予算関連文書のホームページ上での公表を求めることについて	子どもの人権オンブズパーソン 代表 木 村 悦 子	不採択

# ものづくりのためのヒントを学ぶ ～市議会議員研修会～

平成26年度松江市議会の議員研修会が、去る1月29日(木)の午前10時から市役所において行われ、「科学技術と地域の豊かな資源(人・物・自然・歴史)を生かして地域振興に寄与すべく汗する一刻ものの眩き」と題して、島根県産業技術センター所長吉野勝美さんにご講演いただきました。

講演では、「世界の中の島根」を意識することや、地元にある資源を生かし、人との出会いを生かし、人脈を生かすこと、また、「ものになるものをやらないと何も認めてもらえない」、「研究だけではダメ、最後にはものにしないとダメ」とのこと、失敗を恐れずに、とにかくチャレンジすることが大事だという、今後のものづくりのためのヒントをご教授いただきました。



## 松江市議会災害発生時対応要領(災害対応マニュアル)を策定

松江市議会では、近年頻発する大規模災害に対応することを目的とした災害発生時対応要領を定め、適宜対応するための災害対応マニュアルを策定しました。

大規模災害発生時には、市民の皆さんの安心安全を守るために、松江市議会災害対策支援本部を設置し、情報収集に努め、松江市災害対策本部へ適宜的確に情報提供することなどを決めました。

## 議会報告会を開催!

平成27年度の議会報告会は、公民館ブロック単位の5か所において、お出かけいただきやすい気候の良い時期に開催することといたしました。(5月上旬に回覧で開催日時などをお知らせしています)

ブロック名	松南ブロック	松東ブロック	中央ブロック	松北ブロック	湖南ブロック
	竹矢・津田・大庭・古志原・八雲・東出雲	川津・朝酌・本庄・持田・島根・美保関・八束	城北・城西・城東・白濁・朝日・雑賀	古江・秋鹿・大野・法吉・生馬・鹿島	乃木・忌部・玉湯・宍道
開催日時	5月26日(火) 午後7時00分から	5月29日(金) 午後2時00分から	5月29日(金) 午後6時30分から	6月2日(火) 午後6時30分から	6月5日(金) 午後6時00分から
会場	竹矢公民館	川津公民館	城西公民館	法吉公民館	玉湯公民館

## 編集後記

私達委員7名が議会広報の担当になったのが平成25年5月。その後8号の編集・発行に関わってきましたが、慣れない作業をなんとか乗り切り、2年の任期を終えて次の委員へバトンタッチする時期となりました。

この間、記事や、表紙の「平成の松江風土記」などの写真撮影を各委員で分担。努めて議会の様子やしくみを紹介し、議会の働きをお伝えしてきました。市民の皆様読んでいただけるよう紙面づくりに努力してきましたが、残る課題は次期委員会に引き継ぐことにします。

議会広報等特別委員会委員長 野々内 誠

## 皆様のご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいております。ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただきます。

〒690-8540 松江市末次町86  
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)  
電話 (0852)55-5433  
ファックス (0852)55-5533  
議会事務局メールアドレス  
giji@city.matsue.lg.jp



ホームページアドレスが変わりました  
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>